



# 学校だより

12月号

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる  
さしのべる 生きている」

令和4年12月2日

大田区立糀谷中学校

校長 小島 宏一郎

自ら学び考えることができる生徒

感性豊かで思いやりのある生徒

心身ともに健康な生徒

## 人権週間に 11月28日朝礼 校長講話より

校長 小島宏一郎

12月に入り、令和4年も残り1ヶ月となりました。今月前半には、人権週間があります。第二次世界大戦が終わって3年後の1948年12月10日に開催された第3回国連総会で、世界人権宣言が採択されました。このことを記念し、12月10日が「人権デー」と定められ、「人権デー」までの1週間の12月4日から10日が人権週間と決まりました。そこで、今日は、人権に関する話を2つします。

一つ目は、映画の話です。この夏に島崎藤村原作の「破戒」が60年ぶりに映画化されました。「破戒」の映画化は3回目で、今回の主演は間宮祥太郎さんです。この映画は全国水平社創立100周年を記念して作られました。（全国水平社のことは、今月配られる「人権に関する学習資料」に詳しく載っています。）

映画のパンフレットのインタビューで、脚本の加藤正人さんは、部落差別だけでなく広く「差別」を意識して「誰の中にもおそらく、差別されたくないから差別する側に立とうとする、柔い部分がある」「この映画を観ることで、そのことをきちんと自覚して差別と向き合い、観た方が差別に関して意識するようになってくれればいい」と答えています。また、主役の丑松を演じた間宮さんは、最後の場面のセリフ「勉強が君たちを救ってくれる」に込めた思いを、「勉強して得られるものって、知識だけではない。想像力も育んでくれるのではないかと思います。（中略）勉強とは、自己を形成するようなプロセスになるのだということを、生徒たちに伝えるつもりで撮影に臨みました。」と答えています。

映画の劇場公開は都内ではもう終わってしまいましたが、動画配信やレンタルDVDで視聴できると思います。機会があったらぜひ観てほしいです。

二つ目は、11月に糀谷小学校で公開された研究授業の話です。6年生の総合的な学習の時間に「人権課題『外国人』」をテーマにした授業が行われました。授業は羽根つき餃子で有名な

「你好」の創業者である八木功さんと6年生との対話を軸に構成されていました。

八木功さんの半生を簡単に紹介します。八木さんは、1934年、日本人の父と中国人の母との間に中国で生まれました。そして終戦後、ソ連侵攻によって家族が離ればなれになり、母や母の妹と一緒に中国人として生きることになりました。中国での生活では「日本鬼子（にっぽんきし）」と差別されたこともあり、大変な苦勞をされたそうです。しかし、一生懸命に努力し職場でも認められ、生活の基盤を築きました。結婚し、お子さんも3人になりました。中国でずっと暮らす選択肢もありましたが、八木さんは、中国残留孤児として1979年に45歳で父親の祖国である日本に帰国しました。帰国後、日本語学校や夜間学級で日本語を学び、料理学校で料理を学び1983年に蒲田で「你好」を開店しました。

6年生の授業では、外国人に対する偏見や差別に向き合い、自分が八木さんのような立場だったらと考えさせる内容でした。差別される人、差別する人、差別される人を支える人、様々な人の立場になって考えを深めることができる授業でした。

八木さんから「『你好』羽根つき餃子とともに二つの祖国に生きて」という本をいただきました。巻末の「刊行に寄せて」から八木さんの言葉を一つ紹介します。

「どんな困難に直面してもあきらめずに己の信念を貫き通し、努力を続ければ充実した人生を歩むことができると信じています。」

この本は、学校の図書室に入れてもらいますので、ぜひ読んでみてください。

始めに話したとおり、12月4日から人権週間が始まります。大田区では、2日から9日まで池上会館で人権啓発作品展開催します。糀谷中の生徒作品も展示されますので、ひ見に行ってください。





生徒の活躍の記録から

【バレーボール部】

第66回東京都中学校バレーボール新人大会  
糀谷中●0-2○大島中(江東区)

【ソフトテニス部】

第66回東京都中学校ソフトテニス新人大会  
男子団体

- 1回戦 糀谷中○3-0●南葛西中(江戸川区)
- 2回戦 糀谷中○3-0●銀座中(中央区)
- 3回戦 糀谷中○2-1●開進三中(練馬区)
- 4回戦 糀谷中●0-3○砧南中(世田谷区)  
(東京都でベスト16)

【中学生の「税についての作文」】(下に作品掲載)

東京納税貯蓄組合総連合会会長賞  
「税金という名の投資」 (3B)

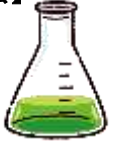
【バスケットボール部】

令和4年度大田区中学校バスケットボール新人大会  
男子の部 優勝(都大会出場権獲得)  
2回戦 糀谷中○94-58●馬込東中  
3回戦 糀谷中○75-40●南六郷中  
準決勝 糀谷中○90-43●大森二中  
決勝 糀谷中○89-46●大森七中

男子バスケットボール部は、3大会連続の都大会出場権獲得です。大会は1月に開催されます。

【令和4年度大田区中学校理科生徒研究発表会】

優秀賞 (2A)  
「牛乳からプラスチックを作ろう」  
優秀賞 (2D)  
「電池を肉の上においたときの変化」



税金という名の投資

三年

私は、上下セットアップの洋服を買いに行った。「お会計は三三〇〇円です。」その時、背筋に冷たいものが走った。私は三二〇〇円しか持っていなかった。なぜなら税抜きと税込みの値段と勘違いしていたからだ。ずっと欲しかった洋服だった。自分のお小遣いを二ヶ月間必死に貯めてやっと買えるようになったと思ったのに、消費税のせいで買うことができなかった。税抜き価格と税込み価格の両方が書いてあるから紛らわしい。「消費税なんてなかったらいいのに。」私はそう思い、必要がないと思った税金の使い道について調べてみた。

調べてみると税金は都市の整備に十一・七%、福祉と保険に十六・九%、教育や科学技術にも使われている。税金は、日本の人々が住みやすくするために必要だということが分かった。そして、私がかつたら良かったのと同じように、消費税は年金、医療、介護、子育て支援に使われているようだ。また、一般歳出のうち、一般会計予算の約三十五%に当たる三十五兆八千六百八億円のお金が、社会保障費として使われているようだ。私はこのことを知って、中学校で机や椅子、また、勉強に欠かせない教科書を無償で使って勉強できることは当たり前ではないと感じた。

日本の人々が税金という名の投資を私達若者にしてくれているから今の私の中学校生活が成り立っていると思う。その投資を私達にしていく人々のためにも、これからの日本を担う一員として学びの姿勢を今までよりもより良くしようと思う。また、学校の設備に対して不平不満ばかり並べるのではなく、今ある学校をより過ごしやすいう環境にするには自分たちにとってどのようなことができるかを考えていくことが大切だと思う。

そして、自分たちが買いたい物をする際に食べ物や飲み物では八%、洋服や靴などでは十%の税金を払っている。老後の生活を豊かにしたり、身体の不自由な人や高齢者をサポートしたり、救急車や消防車に乗ることや赤ちゃんととき予防接種をすることが無償でできるのは、私達が払っている消費税があるおかげだ。

私が最初にはいいものがいいと思っていた消費税は本当にいいものがないものなのか。私は今ではないほうがいいなんて思わない。税金について調べて、税金のおかげで誰かを助けているかもしれないと答えられるようになったからだ。逆に誰かが払った税金によって義務教育を受けることができている。そして、大人になつたらまた次の世代に投資する。きっとその連鎖を途切れさせずに繋いでいくことが私達の役目だと思う。そのためには、今はしっかりと自分たちに与えられた学びをし、人生の計画を立てていくのが大切だろう。



地球温暖化防止月間(環境省)

人権週間(法務省、4日~10日)

12月の行事予定

今月は命の大切さや人権について考える月です。1日~7日は「いのちの電話」フリーダイヤル週間、3日~9日は障害者週間、4日~10日は人権週間となっています。また、1日からの7日間には、TOKYO交通安全キャンペーンが実施されます。年末年始の事故防止にもお気を付けてください。

日	曜日	予定	日	曜日	予定
1	木	職場体験(2年)	14	水	三者面談(3年)
2	金	専門委員会、生徒評議会、生命尊重週間始	15	木	
3	土	社会を明るくする運動意見発表会	16	金	避難訓練
4	日		17	土	
5	月	全校朝礼、三者面談(全学年)	18	日	
6	火	三者面談(全学年)	19	月	生徒会朝礼
7	水	職員会議	20	火	
8	木	三者面談(全学年)	21	水	
9	金	三者面談(全学年)、生命尊重週間終	22	木	大掃除
10	土	土曜補習	23	金	終業式、中学生意見交換会
11	日		24	土	冬季休業日始
12	月	三者面談(全学年)	25	日	
13	火	三者面談(3年)			※始業式は1月10日(火)です。

